

Embedded Technology 2018 IoT Technology 2018

平成 30 年 11 月 12 日

報道関係各位

一般社団法人 組込みシステム技術協会
ET/IoT Technology 事務局

技術・モノづくりのフロントランナーによるトークイベント開催

登壇者に、きゅんくん氏（ロボティクスファッショングクリエイター）、青木和律氏（Cerevo 代表）、

岡島康憲氏（DMM.make AKIBA エヴァンジェリスト）、塩谷将史氏（アペルザ取締役 CTO）、

14 日(水)・15 日(木)の両日、展示会場内メインステージにて実施

一般社団法人組込みシステム技術協会（略称 JASA）は本日、11 月 14 日（水）より 3 日間、パシフィコ横浜で開催する組込み・IoT 技術の総合展「Embedded Technology 2018 / IoT Technology 2018」において、14 日と 15 日（木）両日にトークイベントを開催することを発表いたします。

本企画は、これまでの ET/IoT Technology 展が中心に発信してきたトレンド情報から少し角度を変え、クリエイター、プロデューサーなどさまざまな立場で技術、モノづくり分野に強烈なインパクトを放つフロントランナーを招聘し、実施するものです。

聴講は無料（事前登録制）、プログラム、登壇者の詳細は次のとおりです。

■11 月 14 日(水) 10:30～11:15 展示会場内メインステージ

『3人の“技術者”が語る、人と技術の向き合い方』

ウェアラブルアームロボット「METCALF（メカフ）」が、ET/IoT Technology 2018 のステージにやつてきます！

当日はトークセッションとして、METCALF（メカフ）を手がけるロボティクスファッショングクリエイター／メカエンジニアであるきゅんくん、株式会社 Cerevo 代表取締役であり、きゅんくんの“師匠”でもある青木和律氏、そしてモデレーターには製造業向けインターネットサービスを手がける株式会社アペルザ 取締役 CTO（最高技術責任者）の塩谷将史氏を迎え、異なる場所で活躍する 3 人の“技術者”が、「技術者としての成長」、「変わりゆく技術との向き合い方」について語ります。きゅんくんの師匠 青木氏との出会い、“技術者としてのきゅんくん”的成長秘話にも迫ります。

きゅんくん氏 ロボティクスファッショングクリエイター / メカエンジニア



1994 年東京都出身。機械工学を学びながらファッショングとして着用するロボットを制作している。

高校生の頃より「メカを着ること」を目標にロボティクスファッショングの制作を続け、2014 年よりウェアラブルロボットの開発を進めている。2015 年テキサス「SXSW2015」にてウェアラブルアームロボット「METCALF」発表。同年 オーストリア「Ars Electronica Gala」招待出演。2016 年ウェアラブルロボット「METCALF clone」を発表。同年 AKB 単独公演にて「METCALF stage」を 3 台稼働。DMM.make AKIBA スカラシップ生。

青木 和律（あおき・かずみち）氏 株式会社 Cerevo 代表取締役



1974 年生まれ。大手重工業メーカーで HVAC（産業用冷凍設備及び大規模空調システム）の開発に従事したのち 2008 年に独立、ハードウェアの製造支援を手がける。2015 年にハードウェア・スタートアップ支援施設「DMM.make AKIBA」へ入居し、農業 IoT に取り組む傍ら DMM.make AKIBA の受託開発もサポート。2016 年ハードウェアプロダクトマネージャーとして「DMM.make AKIBA」で開発を続けていたシェアリングエコノミースタートアップのローンチに参画。2018 年 4 月より現職。

塩谷 将史（えんや・まさし）氏 株式会社アペルザ 取締役 CTO / モデレータ



2002年に中央大学卒業後、2年半のWebエンジニア経験を経てWeb系ベンチャーへ入社。Web2.0時代のEC、ソーシャル系システムの企画立案、要件定義から開発・運用、チームマネジメント経験を積む。

2008年に楽天株式会社に入社。一貫して楽天の広告プラットフォームのプロデュースと約50名のチームマネジメントに従事。2012年にアジアHQ及び海外開発チームの立ち上げのためにシンガポールに赴任。3年間でシンガポールを中心に日本・インドの3拠点で合計100名近くの開発体制を構築しマネジメント。グローバル広告プラットフォームの企画立案・開発から海外拠点への導入を指揮。

その後、Cluez創業メンバーと出会いビジョンに共感し、2016年1月から取締役CTOとしてジョイン。クロスボーダー・多国籍チームのマネジメント経験とEC・デジタルマーケティング系プラットフォームのプロデュース経験を活かしテクノロジとサービスプロデュースの立場からAperzaを発展させていく。

■11月15日(木) 10:30~11:15 展示会場内メインステージ

『IoT技術を活用した新規事業立ち上げにおける先端人材とコンセプト検証の重要性』

IoTは今後も様々な場面で活用される技術である。IoTなどの先端技術を活用した新規事業の立ち上げには、技術とビジネス、ハードウェアとソフトウェアのそれぞれの領域を横断し、各領域のスペシャリスト同士を通訳できる人材が必要である。

また、新規事業立ち上げにおいてはコンセプト検証が重要となる。コンセプト検証においてはハードウェア開発におけるスタンダードであるウォーターフォールではなく、よりソフトウェア開発に近い、「一つずつ仮説を立て、その仮説を検証できるプロトタイプを高速で製作し高速で大量に実地検証する」スタイルが適切である。DMM.make AKIBAでエヴァンジェリストを務める岡島康憲が解説する。

聞き手：塩谷将史氏

岡島 康憲（おかじま・やすのり）氏 DMM.make AKIBA エヴァンジェリスト



DMM.make AKIBAの企画・運営及びエヴァンジェリストを担当。

電気通信大学大学院修了後、ビッグロープ株式会社にて企画運営を担当。2011年、岩淵技術商事株式会社を創業。自社製品開発やハードウェア商品の企画支援を行う。

2014年よりDMM.make AKIBAにジョイン。2017年、IoTセンサー向けプラットフォームを提供するファストセンシング株式会社を創業。「DMM.make AKIBA企業向けIoT人材育成研修」の講師を務める。

DMM.make AKIBA

モノをつくりたい人が必要とするハードウェア・スタートアップの拠点となる総合型モノづくり施設。



公式サイトの紹介ページは[こちら](#)です。

>> <http://www.jasa.or.jp/expo/event/talksession.html>

以上

■ニュースリリースに関する報道関係者からの問い合わせ先

Embedded Technology / IoT Technology プロモーション担当（株式会社ピーアンドピービューロウ）

TEL : 03-3261-8981 Email : guidebook@et-guide.com [担当] 樋口

■本展に関する一般方からの問い合わせ先

ET/IoT Technology 事務局（株式会社 JTB コミュニケーションデザイン）

TEL : 03-5657-0756 Email : etinfo@jasa.or.jp [担当] 担当：鷹（リ）、清水